

## 生物科企画「西表島フィールドワーク」の実施について

12月25日(日)～28日(水)の期間、西表島でフィールドワークを実施しました。

参加人数は1年生13名(女子6名、男子7名)で、現地研修実施前に4回、実施後4回の研究活動もあわせて実施しています。

### ◎ 概要

日付	内容
12月25日	野生動物保護センターにて西表島の自然について学ぶ
12月26日	午前：イナバ林道にて石垣長健氏によるエクスカージョン 午後：船浦にて馬場繁幸氏によるエクスカージョン
12月27日	午前：浦内川観光船にて軍艦岩へ移動しカンピレーの滝まで植物観察 午後：干立にて干潟の生物の観察
12月28日	宮城氏による島民の暮らしと西表島の自然についての講演会

### ◎ 研修内容

#### 12月25日

7時 羽田空港第2ターミナルビルに集合し、いよいよ研修がスタートしました。8時10分発の飛行機の出発が遅れ、それに伴って、石垣島到着も遅れ、大急ぎで離島桟橋行きのバスに乗るといふあわただしいスタートでした。石垣の離島桟橋を13時に出発した船が14時前に西表島大原港に到着し、路線バスに乗って野生動物保護センターに向いました。初めに、バス停付近の後良(シイラ川)に架かる橋から、マングローブの分布の様子を観察しました。海側ではマヤシキやヒルギダマシ、ヤエヤマヒルギなど耐塩性のある種を確認し、上流側ではヤエヤマヒルギに加えてオヒルギが優占している植生を観察しました。野生動物保護センターへは徒歩で10分ほどかかりましたが、移動中にヤエヤマオコウモリを間近に観察したり、西表島でなければ観察できないオオバイヌビワやギランイヌビワの観察も行ったりできました。野生動物保護センターでは、職員からセンターの概要の説明を受け、その後各自で施設の見学を行い、西表島の生態系について標本やはく製、映像を見ながらさまざまな情報や知識を習得しました。



#### 12月26日

6時30分から懐中電灯を頼りに海岸林内を散策し、スベトカゲやムラサキオカヤドカリを、明るくなってからはズグロミゾゴイやトラツグミなどを観察しました。9時に石垣長健氏と合流し、イナバ林道を散策しながら植物の観察と西表島の生活ととの関係に関するエクスカージョンが始まりました。林道沿いを散策しながら、薬用や食用となる植物の紹介とそれらの植物のどの部分をどのように処理して生活に生かしてきたのか、また、祭りや冠婚葬祭の時に利用される植物などについても詳しく説明がありました。イノシシ猟師でもある石垣氏が大きなオキナワウラジロガシのドングリを手に取りながら「このドングリが豊作の年のイノシシはあまりおいしくない。ドングリに含まれるタンニンが、ちょっとエグミを出すからだ。」など山の恵みを利用してきた人ならではのコメントもありました。



11 時過ぎにエクスカージョンが終了し、徒歩でホテルに戻って昼食休憩としましたが、この途中道路を横切るイリオモテヤマネコを観察できた幸運な生徒もいました。



昼食後、船浦湾の干潟に移動し、馬場繁幸琉球大学名誉教授(前国際マングローブ生態系協会事務局長)の出迎えを受けました。午後のマングローブに関するエクスカージョンの開始です。マングローブを構成する代表的なヒルギ類とその学名が紹介されましたが、事前学習の成果が活かされたでしょうか?特に、耐塩性に関しては、塩類戦の有無やもっとも古い葉に塩類を集積させて落葉させること、空気は通すが海水を通さないフィルターのような構造など、ヤエヤマヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ、それぞれの種の特性について、五感をフル活用して経験することができました。その後、ヤエヤマヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシの各調査グループに分かれ、根系を中心とした詳しい調査観察を実施し、純マングローブ構成種の生理的な特性についてまで考察することができました。

## 12月27日

沖縄県最大の川である浦内川を船でさかのぼり、その後、川沿いの遊歩道に広がる亜熱帯多雨林の中を散策し、亜熱帯林特有の植生の観察を行いました。ここでは、亜熱帯多雨林に特徴的なオキナワウラジロガシやギランイヌビワの板根、アコウなどの絞め殺し植物、ツルアダンやトウヅルモドキなどつる植物が発達した林内のようす、ヒカゲヘゴやクロヘゴなどの木性シダ、タカワラビやホソバリユウビンタイなどの大型シダを観察することができました。また、ルリミノキの仲間の同定やシダ植物の同定なども実施し、亜熱帯雨林の多様性を学びました。



13時には船着き場に戻り、浦内川河口付近にある展望台で、河口付近に広がるマングローブ林を眺めながらの昼食をとりました。昼食後、浦内川の上空を4羽のミサゴが飛び交う行動や、カンムリワシが飛翔するようすも観察できました。干潮の時間に合わせ午後は3時過ぎから与那田川の干潟で、干潟の動物の観察を行いました。しかし、気温が低かったためシオマネキの仲間のウェービングを観察することはできず、砂団子の下を掘って見つけたミナミコメツキガニが回転しながら砂の中に潜る様子を観察しました。

## 12月28日

9時過ぎにホテル近くにある明治28年に建てられた宮城氏の古民家を訪ね、昭和初期から戦時中、米軍占領下の沖縄特に西表の生活に関する話を聴きました。四角い家の間取りや東京と違う仏壇、お祭りで使う獅子頭やお面など島の文化なども含めた話を聴き、1時間30分ほどの時間を過ごしました。

11時30分過ぎの送迎バスで上原港に移動し、12時30分発の船で西表島を離れ、大揺れの船に乗って石垣島に到着しました。

